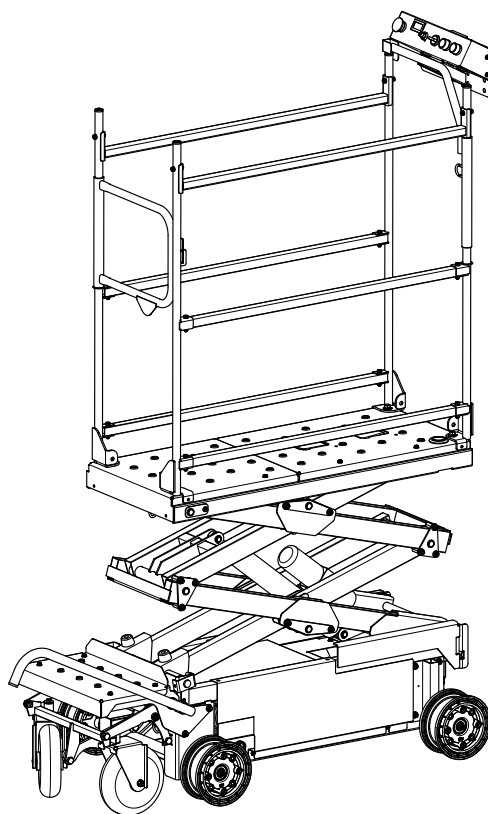


使用する前に必ずよく読んで正しく使いましょう

みくる ハウス内管理作業台車

GW-110

取扱説明書



はじめに

- このたびは、本機をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
- 本機は、施設（ハウス）内で誘引や葉かき作業等を行なう作業台車です。
- 使用目的以外の作業や改造はしないでください。
- 本書は、本機の正しい取り扱い方法と点検、整備などについて説明しています。
- ご使用される前には本書を必ずお読みいただき、正しく安全にご使用ください。
- 本書は大切に保管し、本機を貸与または譲渡される場合は、相手のかたに本書の内容を十分理解していただき、本書を本機に添付してお渡してください。
- 本書に従った本機の正しい取り扱いや、点検・保守をしていただくことを推奨します。注意事項に従わず何らかの損害が発生した場合、保証の対象外になるためご注意ください。
- 本書を紛失または損傷された場合は、すみやかにお買い上げいただいた販売店にご注文ください。
- なお、品質・性能向上あるいは安全上の観点から、使用部品の変更を行なうことがあります。その際には、本書の内容およびイラストなどの一部が本機と一致しない場合もありますが、ご了承ください。
- 本書では、特に重要と考えられる取り扱い上の注意事項について次のように表示しています。

表示	重要度
 危険	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負うことになるものを示しています。
 警告	その警告に従わなかった場合、死亡または重傷を負う危険性があるものを示しています。
 注意	その警告に従わなかった場合、ケガを負うおそれのあるものを示しています。
 重要	この項目に従わなかった場合、物的損害をこうむるおそれのあるものを示しています。 また、本機の性能を発揮させるための注意事項を説明しています。よく読んで本機の性能を最大限発揮してご使用ください。

ご不明な点がございましたら、ご遠慮なくお買い上げいただいた販売店にご相談ください。

安全重要ポイント

本機を効率よく安全にお使いいただくために、必ず守っていただきたい事項を説明しております。十分に熟読されて、安全な作業を行なってください。

1. 本機から離れる時は、
移動用車輪を格納して、駆動輪を接地してから
電源スイッチを「OFF」にします。
 2. 作業中は、チェーンなどの
回転部分に触れないようにします。
 3. 作業台の下に、
頭・手・足を入れないようにします。
 4. バッテリーの充電は、
湿気のない風通しの良い場所で行ない、
火気厳禁とします。
 5. バッテリーの端子および、配線類は、
金属工具で触らないようにします。
-

本機をご使用になる時は、復唱してください。

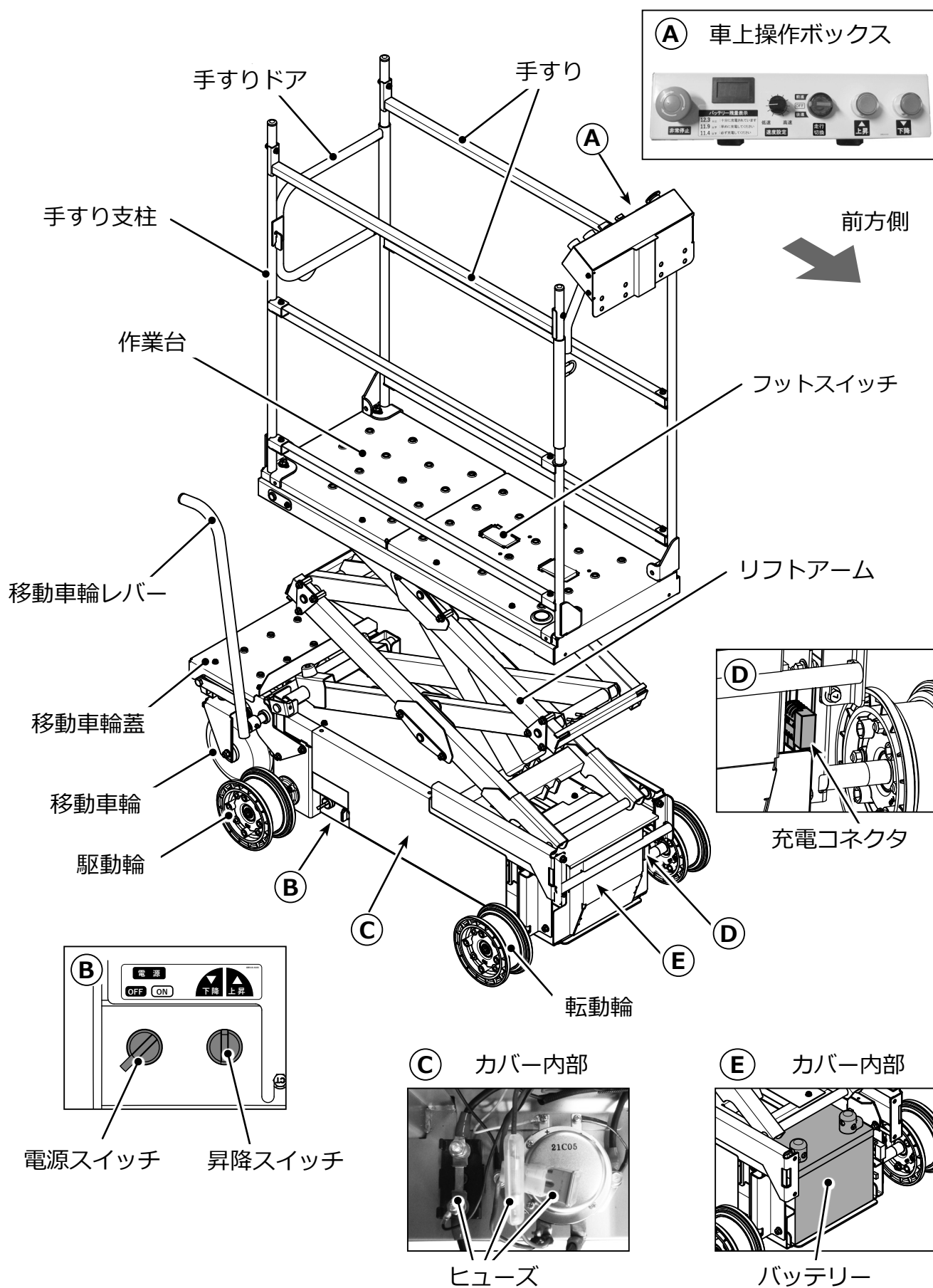
安全に作業していただくため、ぜひ守っていただきたい重要安全ポイントは上記のとおりですが、これ以外にも本文の中で安全上ぜひ守っていただきたい事項を  を付けて説明しております。

よくお読みいただいて、必ず守っていただくようお願い致します。

目次

各部の名称	1	運転のしかた	13
付属品	1	電動走行のしかた	13
各部のはたらき	2	移動車輪での手動走行の しかた	14
電源スイッチ	2	作業台での作業のしかた	15
非常停止ボタン	2	点検整備	16
昇降スイッチ	2	清掃時の注意	16
バッテリーチェッカー	3	ヒューズ	16
速度設定ダイヤル	3	スイッチ・ダイヤル	16
走行切換スイッチ	3	バッテリー	16
昇降ボタン	3	電気配線	16
フットスイッチ	4	移動車輪レバー	16
フットスイッチを移設 する方法	4	転動輪・駆動輪・ 移動車輪	16
転動輪	5	注油箇所	16
駆動輪	5	サービス資料	17
移動車輪・移動車輪レバー	5	本機の保証	17
バッテリー	6	サービスネット	17
バッテリーの取り出し、 取り付け方法	6	補修用部品供給期間	17
バッテリー液の補水方法	7	主要諸元	17
充電コネクタ	7	消耗品	18
安全に作業するために	8	オプション	18
安全表示ラベル	11	電気配線図	19
作業前の点検	12	保証書	裏表紙
バッテリー	12		
転動輪・駆動輪・ 移動車輪	12		
移動車輪レバー	12		
スイッチ・ダイヤル	12		
リフトアーム	12		
作業台	12		

各部の名称



■ 付属品

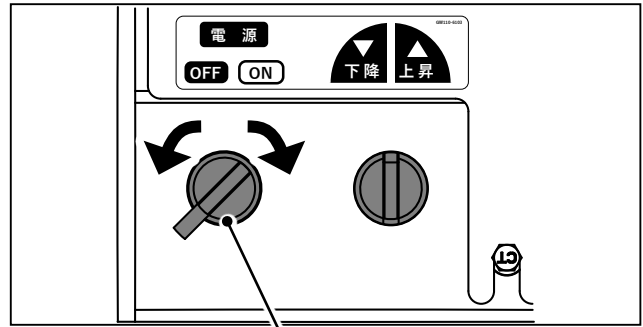
取扱説明書（本書）

各部のはたらき

■電源スイッチ

「ON」・・・本機の電源が入り、バッテリーチェッカー、走行切換スイッチが点灯します。

「OFF」・・・本機の電源が切れ、バッテリーチェッカー、走行切換スイッチが消灯します。



電源スイッチ

▲ 警告

- 本機から離れる時や充電時、また点検・整備を行なう時は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。これを怠ると思わぬ事故を起こすおそれがあります。

■非常停止ボタン

非常時は、非常停止ボタン（赤色）を押すと、本機の全動作が止まりバッテリーチェッカーが消灯します。

非常停止ボタンを右方向（矢印表示）へ回すと、非常停止が解除され、作業が可能になります。バッテリーチェッカー、走行切換スイッチも点灯します。

●非常停止させる

→ ボタンを押す

●非常停止を解除する

→ ボタンを右へ回す

（右に回して解除）

車上操作ボックス



非常停止ボタン
（押すと停止）

重要

- 非常停止を解除をする時は、誤まってボタンを引っ張らないでください。ボタンが壊れる場合があります。

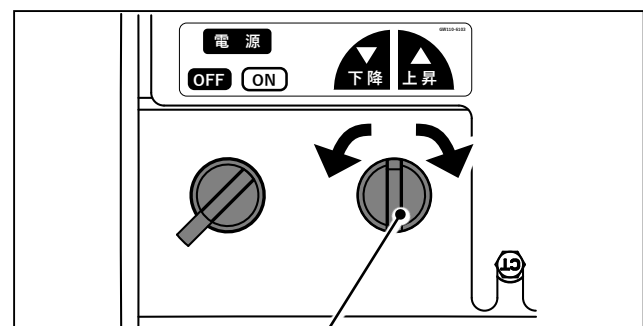
■昇降スイッチ

メンテナンス時に使用します。

電源スイッチが「ON」の状態、昇降スイッチを操作すると、作業台の上昇・下降ができます。

「上昇」・・・作業台が上昇します。

「下降」・・・作業台が下降します。



昇降スイッチ

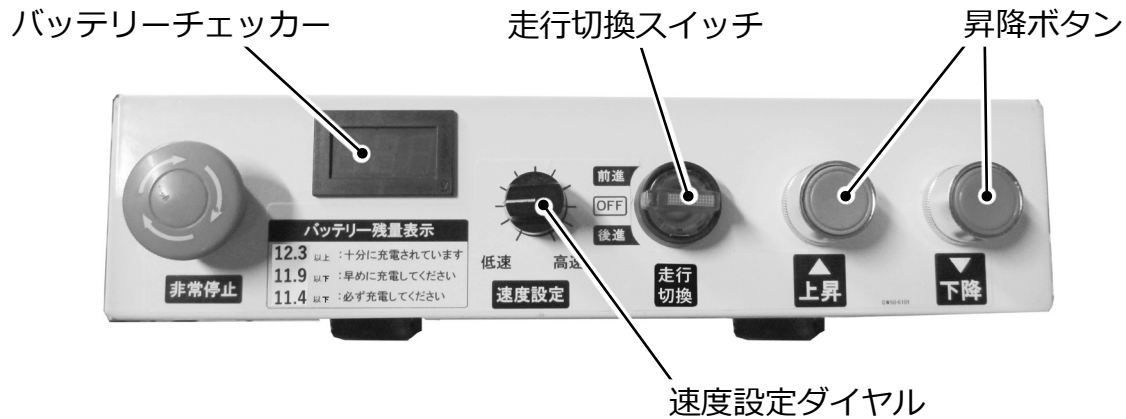
▲ 警告

- 作業台を上昇・下降させる時は、周囲をよく確認してから行なってください。
リフトアームや作業台、またハウスの梁などに頭・手・足等を挟まれて重大な事故を起こすおそれがあり、大変危険です。

重要

- スwitchを操作している間のみ動きます。
- スwitchを戻すと停止します。

各部のはたらき



■ バッテリーチェッカー

バッテリーの電気残存状態を数値で表示します。残存量が減ると、数値が小さくなります。

重要

- 十分充電されている場合は、「12.3」以上の数値が表示されます。
- 表示される数値が「11.9」以下となったら、早めに充電してください。
- 表示される数値が「11.4」以下となると、充電できなくなったり、バッテリーの寿命が短くなったりします。

■ 速度設定ダイヤル

本機の電動走行速度を調節します。
右に回すほど、走行速度が速くなります。
左に回し切ると、走行速度が「0（ゼロ）」になります。

重要

- 電動走行中でも、このダイヤルで、走行速度を調節することができます。

■ 走行切換スイッチ

「前進」・・・本機を前進する時、選択します。
「後進」・・・本機を後進する時、選択します。
「OFF」・・・本機を停止する時、選択します。

電源スイッチが「ON」の状態の時、ランプが点灯します。

重要

- 前進・後進の選択のみでは走行しません。
- どちらかを選択後、フットスイッチを踏むと走行し、放すとブレーキが掛かり停車します。

注意

- 前進・後進の選択は、フットスイッチを踏んだ状態でも可能ですが、急に方向が変わり危険ですので、注意してください。

■ 昇降ボタン

「上昇」・・・作業台が上昇します。
「下降」・・・作業台が下降します。

重要

- ボタンを押している間のみ動きます。
- ボタンを放すと停止します。

警告

- 作業台を上昇・下降させる時は、周囲をよく確認してから行なってください。
リフトアームや作業台、またハウスの梁などに頭・手・足等を挟まれて重大な事故を起こすおそれがあり、大変危険です。

各部のはたらき

■フットスイッチ

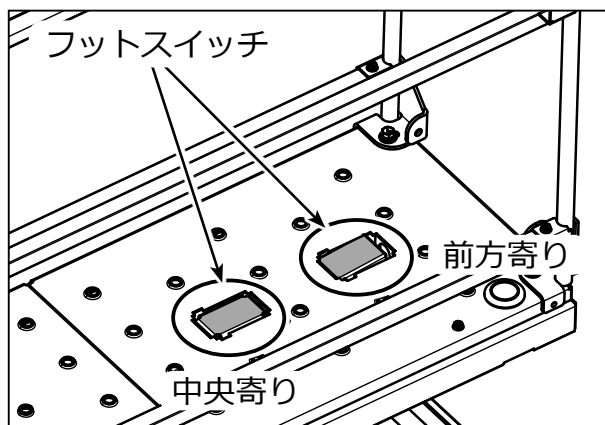
フットスイッチを踏むと、走行切換スイッチで選択した方向、速度設定ダイヤルで設定した速度で走行します。フットスイッチを放すと、ブレーキが掛かり停車します。

⚠ 警告

- 走行を開始する時は、周囲を確認してから行なってください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

⚠ 注意

- 昇降ボタンを操作して、作業台を上昇または下降させながら、フットスイッチを踏んで走行するときは、転倒や衝突のおそれがありますので、十分に注意してください。



重要

- フットスイッチは、作業台の前方寄り、または中央寄り、どちらかの位置へ移設ができます。
- フットスイッチは、設置箇所から引き出さないでください。電気配線が外れたり、切れたりすることがあります。
- フットスイッチは底面を両面テープでしっかりと固定してください。

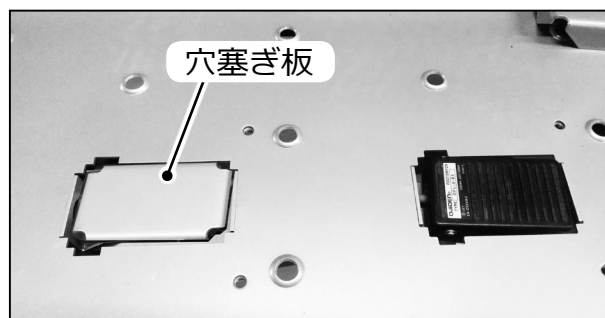
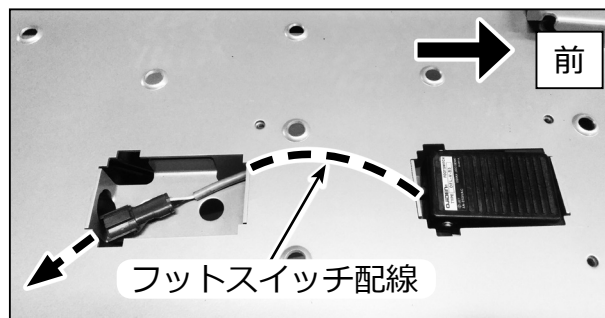
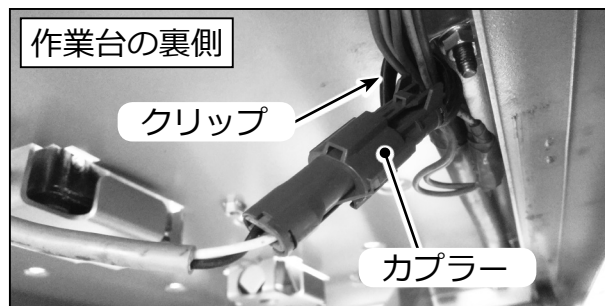
●フットスイッチを移設する方法（中央寄りから前方寄りへ）

- ① 作業台を作業しやすい高さにします。
- ② 電源を「OFF」にします。
- ③ 作業台の裏側にある、カプラーの爪を押して抜き、フットスイッチを取り外します。
- ④ フットスイッチ配線が、右図のように配置してください。
- ⑤ カプラーを元どおりに取り付けます。
- ⑥ カプラーと配線をクリップでまとめるようにまとめてください。

重要

- 最上昇時、最下降時に、配線やカプラーをリフトアームで挟んだり、引っ張ったりしないように配置してください。

- ⑦ フットスイッチは底面を両面テープでしっかりと固定してください。
- ⑧ 中央寄りのフットスイッチがあった穴には穴塞ぎ板を置いてください。



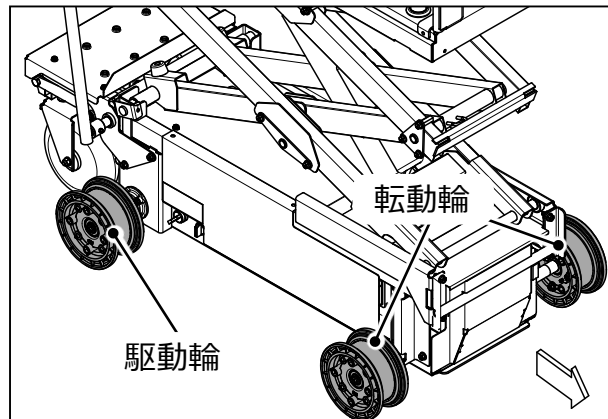
各部のはたらき

■ 転動輪

車上操作ボックス側にある樹脂車輪です。
左右に1つずつあります。
本機の走行に応じて、転動します。

■ 駆動輪

本機の後方側にある樹脂車輪です。
左右に1つずつあります。
電動走行の時は、モーターで駆動します。



重要

- 走行切換スイッチが「OFF」、または、電源スイッチが「OFF」のときは、駆動輪にブレーキが働いています。

■ 移動車輪・移動車輪レバー

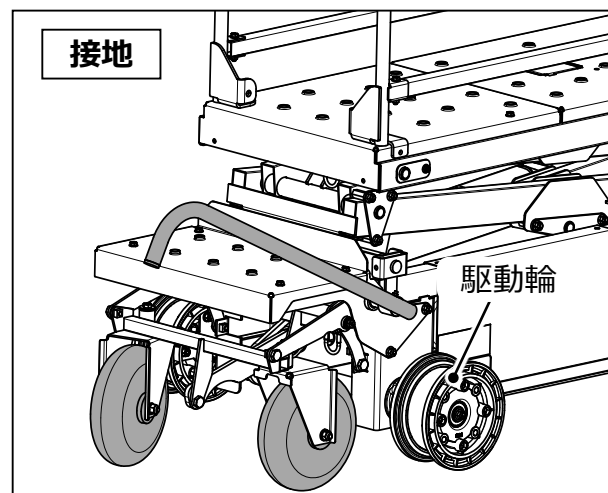
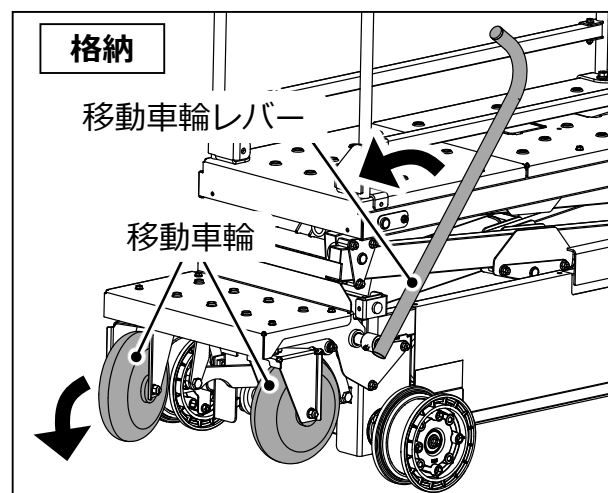
作業列（レール）の変更の際など、レール上ではない場所で、本機を手動で移動させる時に使用します。
移動車輪レバーを手前へ引くと移動車輪が地面に接地し、駆動輪が持ち上がり、手動で移動させることができます。

⚠ 警告

- 本機から離れる時や、充電時または点検・整備時は、必ず移動車輪を格納して、駆動輪を接地してから、電源スイッチを「OFF」にしてください。
これを怠ると、本機が不意に動き思わぬ事故を引き起こすおそれがあり危険です。

⚠ 警告

- 移動車輪を出して移動するときは、作業台を必ず最下降位置にしてください。
- 作業台を上昇したまま移動すると、本機が転倒するおそれがあり危険です。



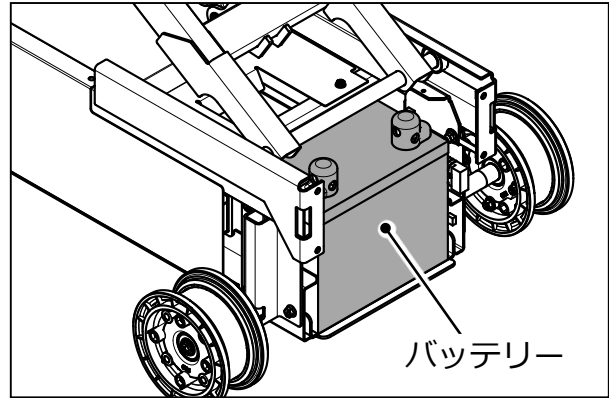
各部のはたらき

■バッテリー

電動走行用の電圧 12V のバッテリーです。本機の転動輪の内側に搭載しています。完全充電時には電圧が 13.0V 程度あり、使用等での放電により、徐々に電圧が下がります。電圧は、車上操作ボックスのバッテリーチェッカーで確認することができます。

重要

- 過放電すると、電圧が低くなり過ぎるため、バッテリーの寿命が著しく低下します。
- バッテリーチェッカーの残量表示が「11.9」以下になったら、早めに充電してください。

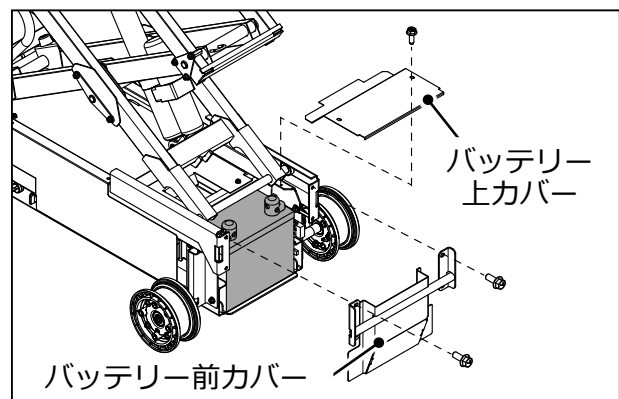


バッテリーチェッカー



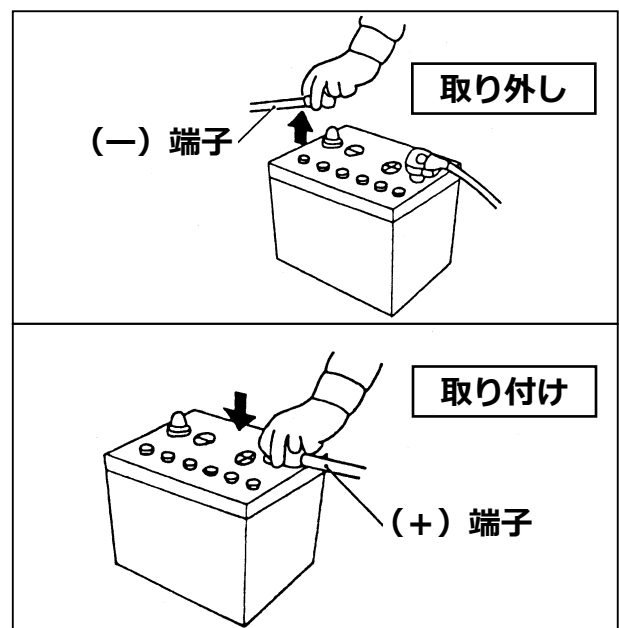
●バッテリーの取り出し、取り付け方法

- ①作業台を作業しやすい高さにします。
- ②電源を「OFF」にします。
- ③バッテリー前カバーを外します。
- ④バッテリー上カバーを外します。
- ⑤⊖端子を取り外します。
- ⑥⊕端子を取り外します。
- ⑦バッテリーを取り外します。
- ⑧取り付けるときは、上記の逆の方法で行なってください。



⚠ 警告

- 端子の取り外しは⊖端子から、取り付けは⊕端子から行なってください。これを怠ると、着脱の時に火花が発生し、バッテリーの発火や火災を引き起こすおそれがあり、大変危険です。



各部のはたらき

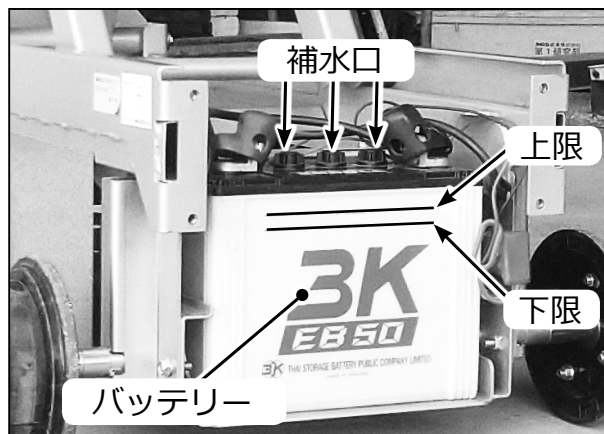
● バッテリー液の補水方法

- ①作業台を作業しやすい高さにします。
- ②電源を「OFF」にします。
- ③バッテリー上カバーを外します。
- ④補水口から精製水（蒸留水）を補水します。

⚠ 危険

- バッテリー液は希硫酸ですので、目・皮膚・衣服に付着すると、火傷や失明の原因となります。バッテリー液の取扱いには十分に注意してください。

もし、目・皮膚・服に付着した時は、直ちに多量の水で洗い流し、速やかに専門医の診断を受けてください。



重要

- 少なくとも 1 週間に 1 回は液面を点検し、精製水（蒸留水）を上限レベル位置まで補水してください。下限レベル以下になると、バッテリー寿命が著しく低下します。

■ 充電コネクタ

⚠ 警告

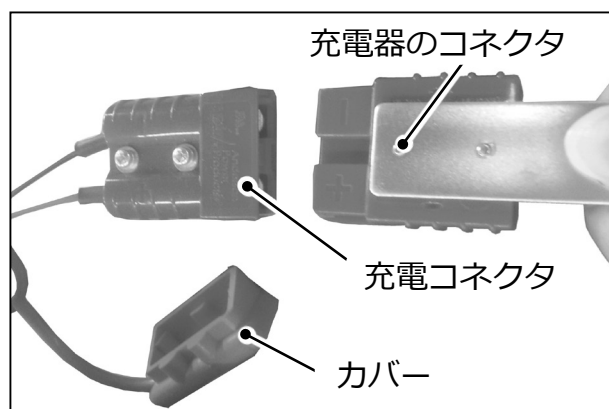
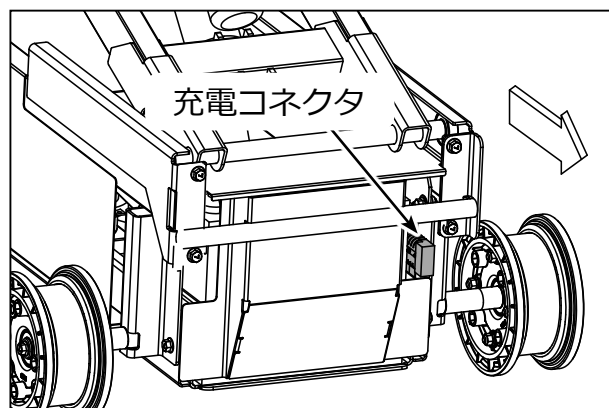
- 充電は、電源スイッチが「OFF」の状態、必ず行なってください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こすおそれがあり大変危険です。

搭載バッテリーを充電する時に使用するコネクタです。本機の前方右下にあります。

カバーを外して、別売りの充電器に接続して充電してください。

重要

- 充電は、湿気の無い・風通しの良い場所で行なってください。
- 充電後には、充電コネクタへカバーをしてください。カバーをしないまま使用すると本機が故障するおそれがあります。



安全に作業するために

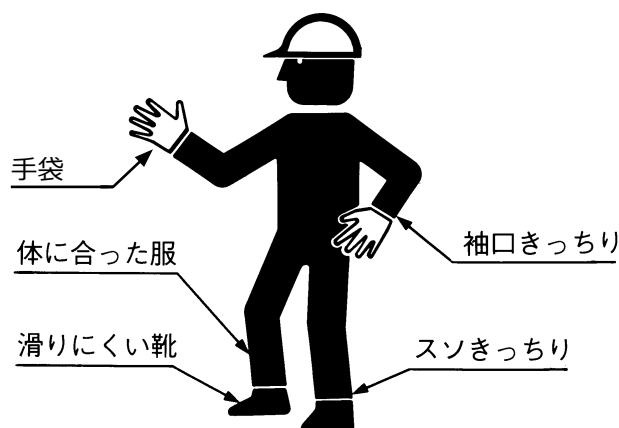
本製品の安全に係わる特性を、以下に記述します。内容を十分に理解された上で、安全に作業してください。

1. 安全指示を順守して

- 本機を使用する前に必ず、本書および本機に貼ってある安全表示ラベルをよく読み、理解した上で作業してください。
- 本書および安全表示ラベルの内容が理解できない人や子供には絶対運転させないでください。
- 本機を他人に貸す時、また他人に作業を依頼する時は、取扱方法をよく説明し、本書を熟読するように指導してください。

2. 作業に合った服装及び健康状態

- 作業する時は、だぶついた衣服を着用しないでください。回転部に引っかかり事故の原因になります。
- 滑りにくい靴を着用し、必要に応じて、安全靴、手袋などを使用してください。



- お酒を飲んでいる方、睡眠不足の方、過労、病気の方は使用しないでください。

3. 子供が近づくのは危険

- 点検・整備中及び作業中、機械に近づけないでください。見えないところで機械に触ったりかかれていたりして大変危険です。

4. 使用前の準備・点検

- 使用する前の点検は必ず行なってください。これを怠ると、作業中に思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。
- リフトアームの下側は常に清掃し、清潔な状態にしておいてください。落ちた果実やごみがあると電気がショートしたり、機械が作動しなかったりするおそれがあり、本機の故障や思わぬ事故を引き起こすおそれがあります。

5. 作業中の注意

- 作業中は、作業員以外の人は機械に近づかないでください。傷害事故を引き起こす原因になります。
- 作業を開始する時は、周囲の安全を十分確認してください。特に補助者と共に作業をする時は、声を掛け合って安全を確認してください。これを怠ると傷害事故を引き起こすおそれがあります。
- 作業台の下には、頭・手・足等を絶対入れないでください。作業台が上昇や下降する時に、リフトアームや作業台に挟まれて重大な事故を引き起こすおそれがあり危険です。
- 作業台には **100kg の積載荷重** を越える荷重をかけないでください。過積載すると、作業台車の転倒、昇降装置の破損等による重大な人身事故を引き起こすおそれがあります。

安全に作業するために

- 本機から離れる時は、必ず「電源スイッチ」を「OFF」にしてください。バッテリーの放電を抑えます。
- また、本機を広く平坦な場所に停車させて、移動車輪を格納し、駆動輪を地面に接地させてください。守らないと本機が自然に動きだすおそれがあり、大変危険です。

6. 点検・整備時の注意

- 本書（12・16 ページ）に従って点検を実施してください。
- 点検・整備を行なう時は、適正な工具を正しく使用してください。これを怠ると、整備中の事故や整備不良による思わぬ事故を引き起こすおそれがあり、大変危険です。
- 油やグリスが付着していたら、ふき取っておいてください。また油類が漏れたらすぐに拭き取り、点検を行ってください。
- 本機は防水仕様ではありません。水洗いは絶対にしないでください。電気系統（バッテリーを含む）が破損するおそれがあります。
- 本機の改造は、絶対にしないでください。機械の故障や事故の原因になり大変危険です。
- 点検・整備で取り外したカバー類は、必ず元どおりに取り付けてください。

7. バッテリーについて

●バッテリーの取扱い

設置・保守・点検時は、レンチ等の工具や導電性の金属類がバッテリーの電極に触れるとスパークを起こし、工具や電極が溶けてしまいますので、十分に注意してください。

●バッテリーの種類

本機に搭載のバッテリー（TSB 製 EB50）は、電圧 12V・容量 60Ah（20 時間率）の、液補充タイプのサイクルバッテリーです。

大きく傾けたり、倒したりすると、バッテリー液が漏れるおそれがあり、危険ですので注意してください。

●バッテリーの充電

バッテリーの充電の目安は、使用の頻度や状況によって異なりますが、基本的に作業終了後に、毎日行なってください。

また、使用しない状態でも、バッテリーは少しずつ放電しており、約 6 ヶ月放置すると完全に放電し、充電しても使用できなくなります。

1 ヶ月に 1 回は充電を行なってください。なお、充電は 40℃以下の状況で行なってください。

●バッテリー液は危険

バッテリー液は希硫酸ですので、目・皮膚・衣服に付着すると、火傷や失明の原因となります。バッテリー液の取扱いには十分に注意してください。

もし、目・皮膚・服に付着した時は、直ちに多量の水で洗い流し、速やかに専門医の診断を受けてください。

安全に作業するために

●バッテリーの寿命

○バッテリーには寿命があり、生涯使える電気量や充電回数が決まっています。本機に搭載のバッテリーは、80% 放電まで使用して充電した場合、約 500 回の繰返し使用ができますが、使用状況によって変わります。

○下記の症状が発生しましたら、バッテリーを新品の物へ交換してください。

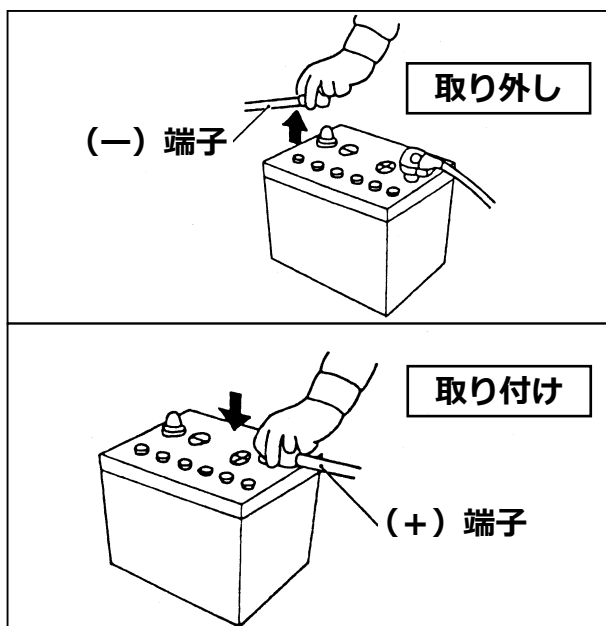
- ①使用期間が 2 年を経過した。
- ②電動走行する際の加速が鈍くなった。
- ③使用できる時間が短くなった。
- ④充電中に熱を持つようになった。
- ⑤バッテリー液の減りが早くなった。

●バッテリーの着脱

バッテリーを着脱する時は、必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。バッテリーを本機から取り外すときは、6 ページの「バッテリーの取り外し・取り付け方法」をご確認ください。また、端子の取り外しは⊖端子から、取り付けは⊕端子から行なってください。これを怠ると、着脱の時に火花が発生し、バッテリーの発火や火災を引き起こすおそれがあり、大変危険です。

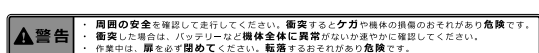
●バッテリーの保管

長期保管する時は、作業台を下げて、電源スイッチを「OFF」にし、バッテリーの⊖端子の配線を外してください。

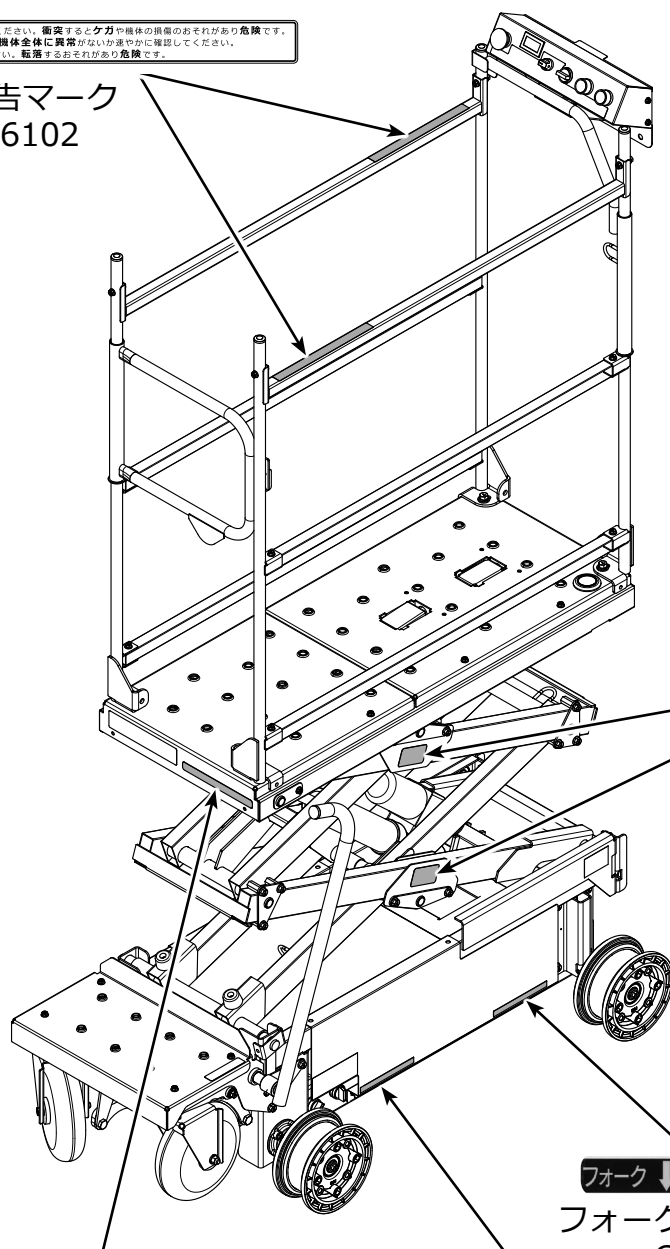


安全表示ラベル

- 本機には、安全に作業していただくために安全表示ラベルを貼り付けています。必ずよく読み、これらの指示に従ってください。
- 安全表示ラベルが破損したり、はがれたり、読めなくなった場合は、販売店に連絡し、交換してください。
- 汚れた場合は、きれいにふき取り、いつでも読めるようにしてください。
- 安全表示ラベルが貼り付けてある部品を交換する場合、同時に安全表示ラベルも購入してください。



運転操作警告マーク
GW110-6102



作動部警告マーク
LSPE4-7009

最大積載荷重 (含作業者) 1 0 0 kg

最大積載荷重マーク
GW110-6104

フォーク ↓

フォークリフトマーク (左)
GW30-6113L

↑ フォーク

フォークリフトマーク (右)
GW30-6113R

作業前の点検

故障を未然に防ぐには、本機の状態をいつもよく知っておくことが大切です。
点検は作業前に必ず行なってください。

▲ 警告

- 充電や各部の点検・整備を行なう時は、必ず、電源スイッチを「OFF」にしてください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こすおそれがあり、大変危険です。
- 充電を行なう時は、湿気及び火気厳禁です。これを怠ると、バッテリーや充電器等の破損や、火災を引き起こすおそれがあり、大変危険です。

● バッテリー 6・7・9・10 ページ参照

十分充電されていることを確認してください。

バッテリーチェッカーの残量表示が「11.9」以下となったら、早めに充電してください。

● 転動輪・駆動輪・移動車輪 5 ページ参照

損傷や大きな摩耗が無いことを確認してください。

また、取付ボルトの緩みや脱落が無いことを確認してください。

● 移動車輪レバー 5 ページ参照

緩みやガタが無いことを確認してください。

移動車輪の格納・地面への接地ができることを移動車輪レバーを操作し、
確認してください。

● スイッチ・ダイヤル 2～4 ページ参照

各スイッチおよびダイヤルを操作し、

途中で引っ掛かったり、著しいアソビやガタやショックが無く、
動きに支障が無いことを確認してください。

● リフトアーム 1 ページ参照

各リフトアーム、および油圧シリンダーの支持箇所に

亀裂・変形・損傷や大きな摩耗が無いことを確認してください。

また、取付ボルトの緩みや脱落が無いことを確認してください。

● 作業台 1 ページ参照

亀裂・変形・損傷が無いことを確認してください。

また、取付ボルトの緩みや脱落が無いことを確認してください。

運転のしかた

■ 電動走行のしかた

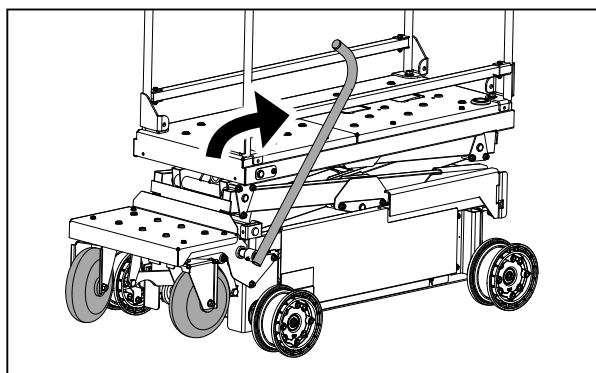
⚠ 警告

- 本機を走行させる時は、周囲の安全をよく確認しながら、人や物に衝突しないように行なってください。これを怠ると、ケガや機体が損傷するおそれがあり、大変危険です。
- 本機が急に停止したり、異常な音に気づいた時は、電源スイッチを「OFF」にし、原因を調べて、正常な状態に戻してから使用を再開してください。
思わぬ事故を引き起こすおそれがあり大変危険です。
- 回転部等には手や足、顔等を近づけないでください。傷害事故の原因となり危険です。

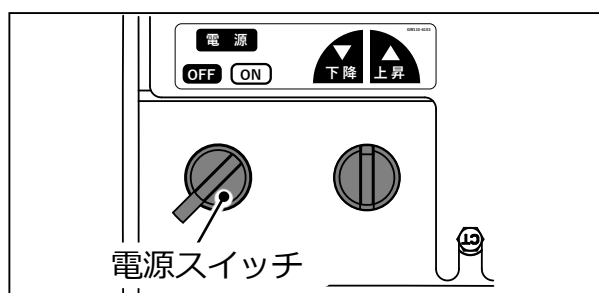
- ① 移動車輪レバーを操作して、移動車輪を格納し、駆動輪を地面に接地させます。

重要

- 移動車輪レバーは、操作できるところまで押し切り、駆動輪が地面に接地しているのを確認してください。



- ② 電源スイッチを「ON」にします。
バッテリーチェッカー、走行切換スイッチが点灯（橙色）します。
点灯しない場合は、非常停止ボタンが作動していないかを確認してください。
(2 ページ参照)



- ③ 走行切換スイッチを、走行させたい方向へ切り換えます。

- ④ 速度設定ダイヤルを調節し、走行させたい速度を設定します。



運転のしかた

⑤フットスイッチを踏む（押す）と、走行切換スイッチで選択した方向へ設定した速度で走行します。

⑥フットスイッチを離すと、走行が止まります。

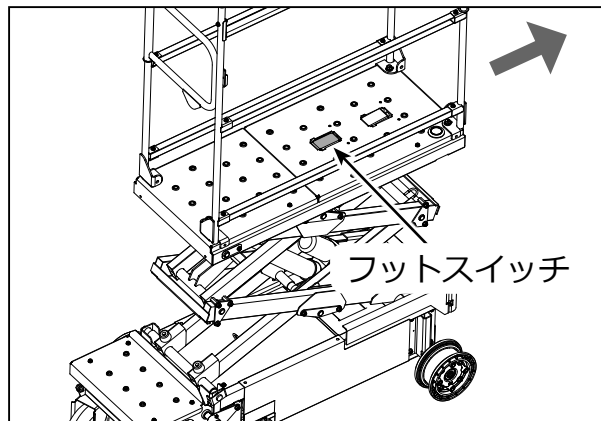
⑦走行する方向を変える場合は、フットスイッチを離し、走行が停止した状態で、走行切換スイッチを操作して下さい。

▲ 注意

- 走行中の前後進の切り換えは、急に方向が変わり危険ですので、注意してください。

● 重要

- 下記の状態では、電動走行しません。
 - ・ 走行切換スイッチが「OFF」
 - ・ 速度設定ダイヤルを左に回し切る



● 重要

- 走行している状態で、前後進の切り換えを行なうと、走行ギヤや走行モーターに大きな負荷が掛かるため、それらが劣化や破損することがあります。

■ 移動車輪での手動走行のしかた

①昇降ボタンを操作して作業台を最下位まで下降させます。

▲ 警告

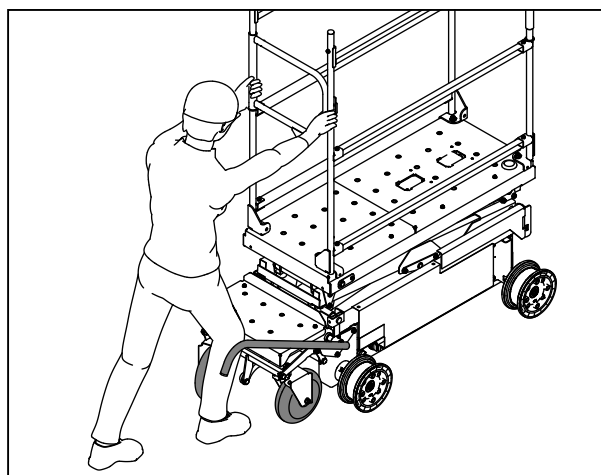
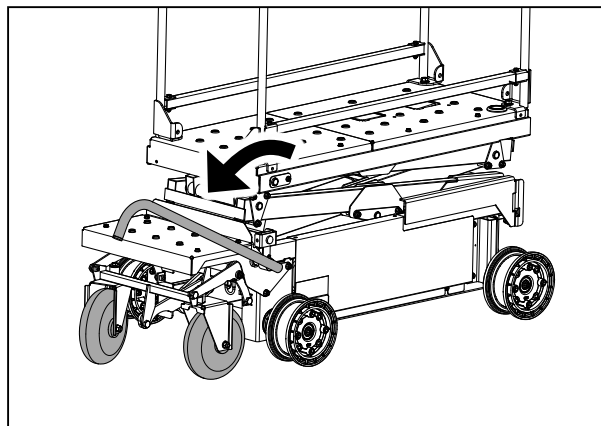
- 作業台を下降させる時は、周囲をよく確認してから行なってください。リフトアームや作業台に頭・手・足等を挟まれて重大な事故を起こすおそれがあり、大変危険です。

②移動車輪ハンドルを手前に引き、移動車輪を地面に接地させます。

③手すり支柱を押して走行させます。

● 重要

- レール（作業列）に対して、まっすぐに進入してください。斜めに進入すると、レールや車輪が損傷するおそれがあります。



運転のしかた

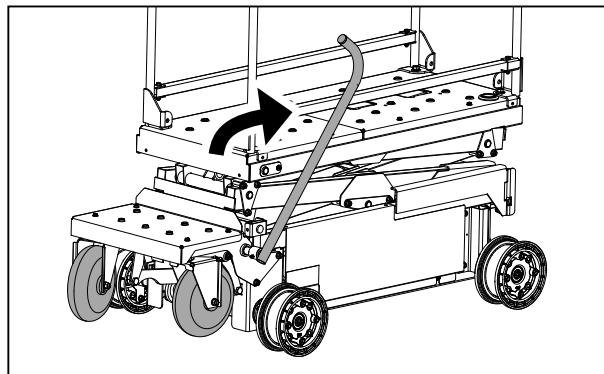
■作業台での作業のしかた

①移動車輪を格納状態にします。

②手すりドア、もしくは操作ボックス取付ドアを開けて、作業台へ上がります。作業台に上がったら、手すりドアを閉めます。

⚠ 警告

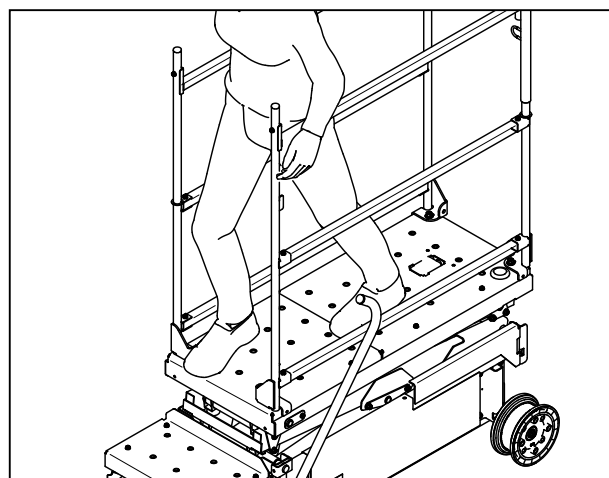
- 作業中は、手すりドア、操作ボックス取付ドアを必ずフックに掛けて、閉じた状態にしてください。これを怠ると、転落等の傷害事故を起こすおそれがあり、大変危険です。



③作業台の高さ調節を行う時は、昇降ボタン（上昇・下降）を操作してください。

⚠ 警告

- 作業台を上昇・下降させる時は、周囲をよく確認してから行なってください。リフトアームや作業台、またハウスの梁などに頭・手・足等を挟まれて重大な事故を起こすおそれがあり、大変危険です。



⚠ 警告

- 本機から離れる時は、必ず電源スイッチを「OFF」にしてください。これを怠ると、思わぬ事故を引き起こすおそれがあり、危険です。

点検整備

⚠ 警告

点検整備する時は、次のことを守って行なってください。
安全を確認せずに点検整備をすると、傷害事故を引き起こすことがあります。

- ① 本機を平坦な広い場所に置く。
- ② 電源スイッチを「OFF」にする。
- ③ ヘルメット・安全靴・手袋等適正な防護具を着用する。

⚠ 注意

電気配線の端子や接続部に、損傷や緩みがあると、電気部品の性能を損なうだけでなく、ショートや漏電の原因になります。

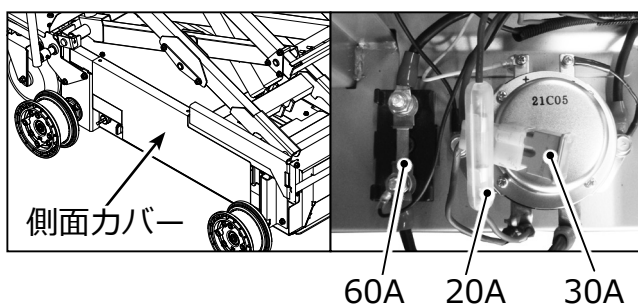
■ 清掃時の注意

モーター・バッテリー・スイッチ等の電気部品は防水仕様ではありません。水濡れには十分注意してください。電気系統が破損するおそれがあります。

■ ヒューズ

ヒューズが切れていないことを側面カバーを開けて確認します。切れている場合は、新しい物へ交換してください。

20A	走行系	: 1 個
30A	昇降系	: 1 個
60A	バッテリー系	: 1 個



■ スイッチ・ダイヤル

各スイッチ・ダイヤルを操作し、途中で引っ掛かったり、著しいアソビやガタやショックが無く、動きに支障が無いことを確認します。

■ バッテリー

バッテリーチェッカーで電圧を確認し充電してください。バッテリー液は液面を確認し、補水してください。

■ 電気配線

電気配線は、被覆に損傷が無いこと、および接続箇所にも損傷や緩みが無いことを確認します。

■ 移動車輪レバー

移動車輪レバーを操作し、車輪が正常に格納・接地するか確認します。

■ 転動輪・駆動輪・移動車輪

損傷や大きな摩耗および取付ボルトの緩みや脱落がないことを確認します。損傷や大きな摩耗がある場合は、新しい物へ交換してください。

■ 注油箇所

次の場所へ定期的に注油を行ってください。

- ・側面カバー内のチェン
- ・リフトアームの各接合部
- ・移動車輪の歯車部と作動部
(移動車輪蓋を開けて注油)

重要

専門的な技術を必要とする場合は、お買い上げいただいた販売店にご相談ください。

サービス資料

■本機の保証

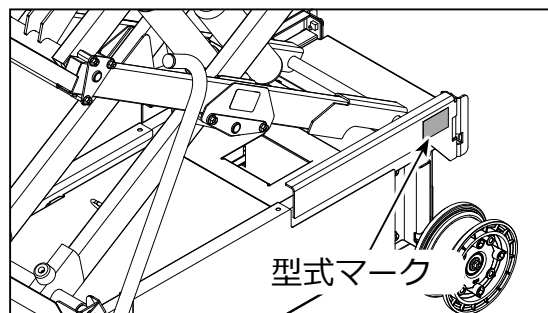
本書の裏表紙に保証書があります。詳細は保証書をご覧ください。

■サービスネット

ご使用中の故障や不審な点およびサービスに関するご用命は、販売店にお気軽にご相談ください。その際、①型式名、区分②製造番号をあわせてご連絡ください。

(型式マーク)

農機具の種類	ハウス内 管理作業台車
型 式 名	みどり GW-110
区 分	GW110
製 造 番 号	※※※※
製 造 会 社 名	みどり産業株式会社



■補修用部品供給期間

本機の補修用部品の供給期間は、製造打ち切り後9年といたします。ただし、供給期間内であっても、特殊部品につきましては、納期などについてご相談させていただく場合もあります。

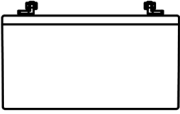
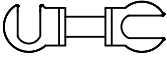
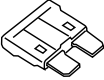
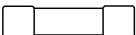
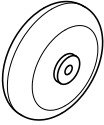
■主要諸元

名 称				ハウス内管理作業台車
型 式				みどり GW-110
機 体 寸 法	全 長	(mm)		1340
	全 幅	(mm)		686
	全 高	(mm)		1635 (作業台 _ 最下降時)
	質 量	(kg)		145
電 動 走 行 部	モーター電圧 / 出力	V/W		12 / 200
	バッテリー電圧 / 容量	V/Ah		DC12 / 60 (20 時間率)
	最 高 速 度	m/s		0.3
	制 御			専用コントローラー
走 行 車 輪	転 動 輪 / 駆 動 輪	(mm)		有効径 :140 フランジ径 :180
	軸 距	(mm)		1000
	輪 距	(mm)		600
	対 応 レ ー ル 幅	(mm)		550 もしくは 600 (レール芯々)
昇 降 部	ポンプ電圧 / 出力	V/W		12 / 250
	シ リ ン ダ ー	(mm)		内径 : 46, ロッド径 : 20, ストローク : 350
	制 御			専用コントローラー
作 業 台	高 さ 範 囲	(mm)		530 ~ 1900
	最 大 積 載 荷 重	(kg)		100 (作業者含む)

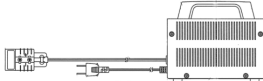
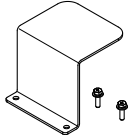
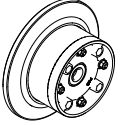
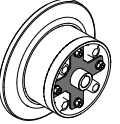
※仕様は予告なく変更する場合があります。

サービス資料

■消耗品

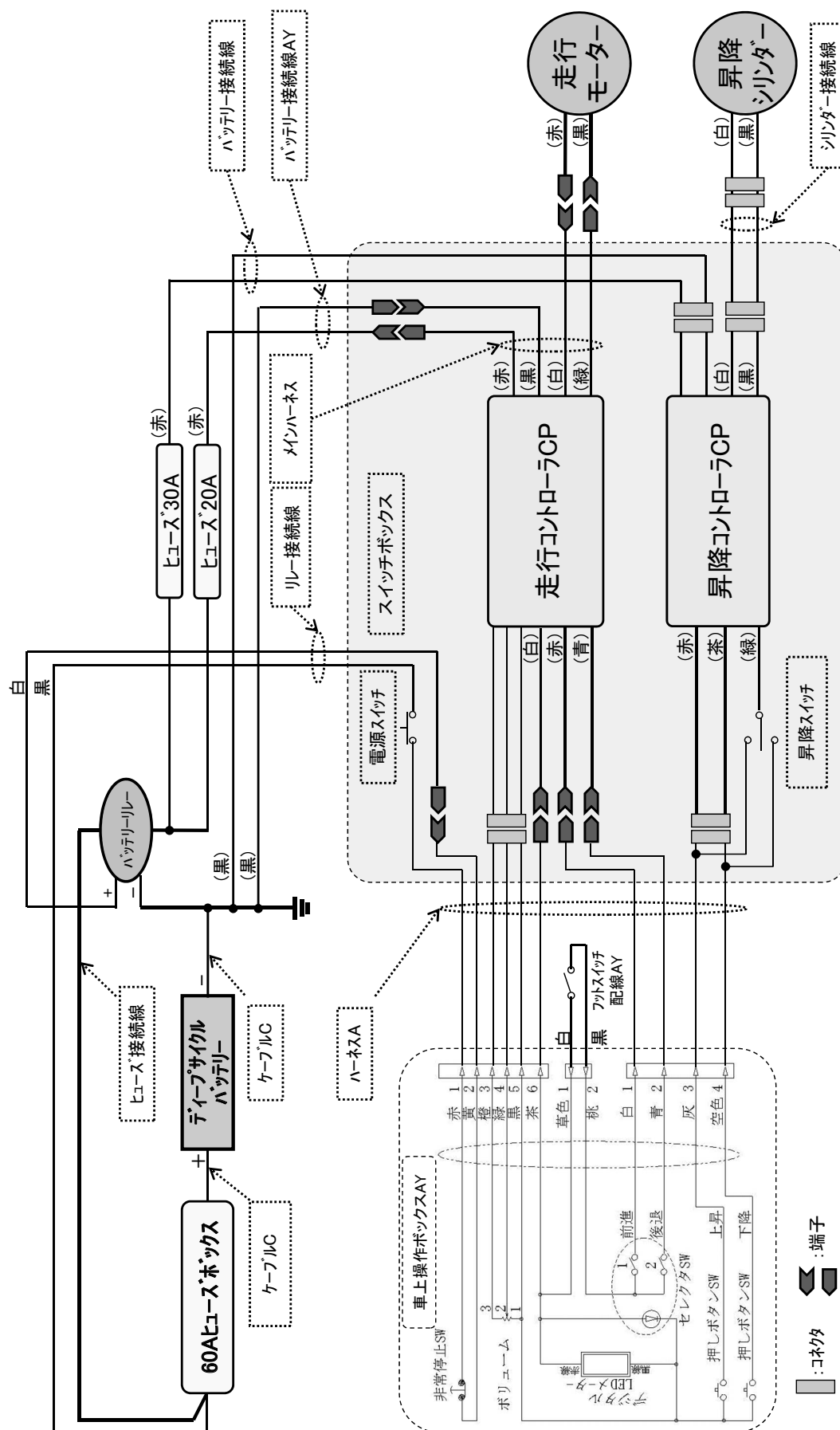
形状	品名	部品番号	備考
	ディープサイクル バッテリー	GW110-5101	
	60Aヒューズ	GW100-5115-1	60A
	ブレード型ヒューズ	FB-1030-30A	30A
	20Aヒューズ	FP-FGB-20A	20A
	車輪 32 (前) A Y	GHE101-2930	転動輪
	車輪 32 (後) A Y	GHE101-2931	駆動輪
	EVA車輪	WH-G-200BX16	移動車輪

■オプション

形状	品名	部品番号	備考
	バッテリー充電器	GW100-9501	
	フットスイッチカバー A Y	GW20-3105(1)AY	
	車輪 50 (前) A Y	GHE101-2950	転動輪 Φ 48.6 mm レール用
	車輪 50 (後) A Y	GHE101-2951	駆動輪 Φ 48.6 mm レール用

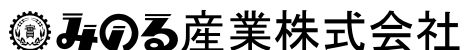
サービス資料

■電気配線図



保証規定

1. 保証期間内（お買上げ日より1ヶ年）に正常なる使用状態において、万一故障した場合には無料で修理いたします。
2. つぎのような場合には保証期間内でも有料修理になります。
 - (イ) 取扱説明書の注意事項を守らなかった場合
 - (ロ) 使用上の誤り、不当な修理や改造による故障及び損傷
 - (ハ) お買上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷
 - (ニ) ご購入時に、「お買上げ日」「販売店名」が未記入、あるいは字句を書き換えられた場合
 - (ホ) 消耗部品



保証書

※ 本書は再発行しませんので大切に保存してください。

保証期間	1ヶ年
お買上げ日	年 月 日
お客様	ご住所
〒	TEL
ご芳名	様

販売店	住所
店名	印
	TEL



本社工場 〒 709-0892 岡山県赤磐市下市 447
TEL(086)955-1123 (代) FAX(086)955-5520

東京支店 〒 337-0042 埼玉県さいたま市見沼区南中野 210
TEL(048)683-9451 (代) FAX(048)683-9452

長野営業所 〒 389-1104 長野県長野市豊野町浅野 582-4
TEL(026)257-6530 (代) FAX(026)257-6531

徳島営業所 〒 771-1151 徳島県徳島市応神町古川字東 197
TEL(088)641-2311 (代) FAX(088)641-2324

九州支店 〒 818-0066 福岡県筑紫野市大字永岡 1020-1
TEL(092)921-6006 (代) FAX(092)921-6008

ホームページ <https://www.minoru-sangyo.co.jp/>